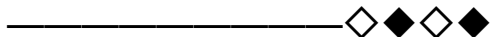




2025 年 7 月 9 日発行

JPCSA 通信 Vol.82



【日本ファームステイ協会より】

- ◆日本ファームステイ協会第 8 期総会
- ◆上山代表理事、宮城県・村井知事を表敬訪問
- ◆農泊地域の課題解決セミナーの開催
- ◆ファームステイ補償制度受付中
- ◆FARM STAY Japan のご案内

【農林水産省より】

- ◆食と農の連携・協働を促進する
新アワード 募集開始

【国土交通省より】

- ◆「地域との関わりについてのアンケート」調査
結果

=====

会員各位

一般社団法人日本ファームステイ協会です。
いつも当協会の活動にご理解頂き、誠にあり
がとうございます。

今回も、農泊に関する最新情報をご案内致し
ます。

◇◆.....

日本ファームステイ協会
第 8 期総会を開催しました。

◇◆.....

日本ファームステイ協会は、6 月 23 日に第 8
期(2024 年度)社員総会を開催しました。総会
では、内堀雅雄会長理事、皆川芳嗣理事長、上山
康博代表理事ら理事、監事、顧問、評議員の再
任が決定されました。新たに、高橋博之氏(株式

会社雨風太陽 代表取締役社長)、石井康弘氏
(株式会社 Will Smart 代表取締役社長)が理事
に就任しました。

第8期の事業では、農泊総合情報プラットフォームの構築に加え、アルベルゴ・ディフーゾ認証の支援事業が実を結び、長崎県平戸市および宮城県蔵王山水苑地域が認証を取得したことなどが報告されました。

また、昨年度から取り組んできた地域二次交通の推進をさらに加速させるため、「地域二次交通推進ワーキンググループ」の立ち上げが承認されました。



◇◆.....

宮城県・村井知事を表敬訪問

蔵王山水苑のアルベルゴディフーゾ認証で

◇◆.....

宮城県蔵王山水苑地域が、世界初かつ世界最大規模の「オスピタリタ・ディフーザ(アルベルゴ・ディフーゾ Ospitalità Diffusa)」の正式認証を取得したことを受け、6月19日、株式会社ガイア(本社:宮城県白石市)の相澤国弘代表取締役社長らとともに、上山康博代表理事が宮城県庁を訪問し、村井嘉浩知事を表敬しました。訪問の場では、「蔵王発・世界へ広がる共生型観光の可能性」について意見交換が行われました。



◇◆.....

【参加費無料】農泊地域の経営

高度化に向けた課題解決セミナーの開催

◇◆.....

(一社)全国農協観光協会では、農泊地域の経営高度化に向けた連続セミナーの第2回目として、「地域製品の販売力向上」をテーマとしたオンラインセミナーを開催いたします。

農泊地域の皆様以外でも、本取組に興味のある方であれば、どなたでもご参加できますので、お誘い合わせの上、お申込みください。

○課題解決セミナー(テーマ2):

「地域製品の販売から地域経済を創る」

・日時:7月25日(金)13:30~16:30

・講師:(株)たくみの里(群馬県みなかみ町)

代表取締役 西坂文秀氏

「カンブリア宮殿」でも特集された愛媛県の農産物直売所「さいさいきて屋」の奇跡的な成功体験と、「たくみの里」での現在進行形の挑戦。この両方の経験から導き出された「売れる仕組みづくり」について学びます。

※セミナーの詳細・お申込先

URL→ <https://x.gd/eqFeu>

※当日都合のつかない場合でも事前にお申込

みをいただくことで、後日メールにて、アーカイブ
動画のご案内を差し上げます。

※この後のセミナーについても、随時ご案内して
参りますので、下記よりご確認ください。

<https://nohaku-manegement.com/>

◇◆……………

農泊受入施設の皆さまのための補償
制度のご紹介 ―教育旅行だけでなく
個人宿泊者の受入にもお勧め！―

◇◆……………

(一社)日本ファームステイ協会では、農泊施
設の皆さまが安心して宿泊者をお迎えするた
め、また宿泊者に安心して農泊を楽しんで頂
くために、「ファームステイ補償制度」をご案
内しております。

具体的には、農泊施設が原因の賠償リスク
や提供した飲食物による食中毒等の賠償リ
スクを補償する「ファームステイ補償保険」に
加え、農業体験時の指導者の指導ミス等
による賠償リスクに備える「ファームステイ
インストラクター保険」を提供します。また、
審査基準を満たした漁業・林業・アクティ
ビティ体験指導者のために、指導ミス等
による賠償リスクに備える「アクティビ
ティインストラクターの補償」について
のご相談を受け付けます。

詳細については、下記の(一社)日本ファ
ームステイ協会の専用ページにてご案内し
ています。<https://jpcsa.org/hokenhanbai/>

◇◆……………

農泊情報発信 Web サイト
『FARM STAY Japan 』

◇◆……………

『FARM STAY Japan 』は、農泊を扱いたい
国内及び海外の旅行会社からの要請を受け
てファーム協会が開発した、無料で情報発信

出来るサイトです。

<https://farmstay-japan.jp/>

農泊地域協議会の皆様を中心に、皆様自身で
管理画面を使用することにより、

- ① 宿泊
- ② 食事
- ③ 体験

それぞれのコンテンツ情報を国内、海外へ
情報発信できます。

登録は以下のお問い合わせから！

<https://farmstay-japan.jp/inquiry>

「登録希望」と書き以下を記載ください。

- ①協議会名（協議会でない場合は施設名）
- ②連絡先（住所、電話、メールアドレス）
- ③担当者氏名

◇◆……………

【農林水産省より】

食と農の連携・協働を促進する新アワード 募集
開始

農林水産省は、「ニッポンフードシフト」事業の一
環として、食料システムの関係者・関係団体間
の相互理解と連携・協働を促すため、優良な取
組を行う企業・団体等を表彰する新たな表彰制
度（大臣賞等）「食と農をつなぐアワード」の公募
を 2025 年 7 月 1 日から開始しました。

ニッポンフードシフトの推進パートナーに登録し
た者を対象に、食料の安定供給部門、食品アク
セスの確保部門、持続的食料システムの確立
部門、スマート農業技術等の開発・普及部門の
4 部門に該当する取り組みについて募集してい
ます。

詳細は以下 URL よりご確認ください。

<https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/anpo/250701.html>

【国土交通省より】

全国の「関係人口」は 18 歳以上の2割強！

～「地域との関わりについてのアンケート」調査
結果の公表～

国土交通省は、6 月 27 日「地域との関わりについてのアンケート」調査結果を公表しました。その結果、全国の 18 歳以上の居住者(約 10,275 万人)のうち、約 2,263 万人(推計値)、2割強が特定の地域に継続的かつ多様な形で関わっていることが分かりました。

結果概要は(1)関係人口は、18 歳以上の2割超！訪問系は、「趣味・消費型」が最も多い、(2)関係人口は、三大都市圏を除く「その他地域」への流動が多い、(3)関係人口(訪問系)の年間訪問日数は、「2～7 日/年」が約 49%で最も多い、(4)関係人口となるには、「時間的な余裕の確保」、「移動や滞在に伴う金銭的負担の軽減」等の改善が必要、(5)地域までの主な交通手段は、「自家用車」が圧倒的。

詳細は以下 URL よりご確認ください。

https://www.mlit.go.jp/report/press/kokudoseisaku09_hh_000166.html

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

発行：

一般社団法人日本ファームステイ協会事務局

〒101-0021

東京都千代田区外神田 2-17-2

(TEL:03-3526-2493 / FAX:03-3526-2494)

本会 WEB サイトは[こちら](#)

問い合わせ先 E-mail は[こちら](#)

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝